

5周年に想う

京都府電機商業組合
理事長 牧野 伸彦



京都電気消防設備団体連絡協議会の発足から早や5周年を迎えました。

松井代表幹事の強力なリーダーシップのもと、小さな種が芽生えはじめています。

5年間の主だった活動と致しまして。

1. 高齢者宅巡回訪問点検活動

漏電等による火災の防止を目的に平成25年9月13日に中京消防署前で真夏日に門川大作京都市長を迎えて出陣式を行い、4団体が統一して高齢者宅110軒の家庭訪問を実施、その後も協議会加盟組合では京都府民が安心して暮らせるように活動を継続しています。

2. 地球温暖化防止活動

太陽光発電システムの普及促進のため景観条例の見直し提言や研修、更には太陽光エネルギーフェア等を京都府、京都市と連携しながら地球温暖化防止や省エネへの取組みを進めています。

京都市の公共施設への屋根貸し事業への公募でKEEを設立し12施設に414キロワットの設置が出来たことも意義のある出来事がありました。

3. 事業承継

高齢化が急速に進む地域社会にあって困りごと相談所的な「街のでんきやさん」の店主の高齢化による廃業予定店から工事組合組合員の起業希望店を見合わせ、店舗及び顧客の譲渡で事業の継承をさせたい。

私は京都府電機商業組合の理事長として「電器店をこれ以上減らしてはならない」との決意のもと、最重要事業として電機メーカー各社、京都府、京都市、商工会議所、中小企業団体中央会のご支援を得ながら更に進めて行く決意です。

以上、全ての面においてまだまだ成果未達のところもありますが加盟組合が連携を更に強めて継続して取り組むことで現状の問題、そして今後も新たに発生する諸課題を解決できると確信しています。

発足から今までのご厚誼に感謝申し上げると共に10周年に向けて更なるご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。